

世界初の中国語マルチメディア学習ソフト

互動中国語

互动汉语

標準語・普通话

唐詩と宋詞

唐诗与宋词

本书编写组 编著

中国語の先生をマイホームに！

把汉语老师带回家！

CIPG 中国国际出版集团
CHINA INTERNATIONAL PUBLISHING GROUP

華語教育出版社
SINOLINGUA

北京华文盛世教育发展有限公司
BEIJING HUAWENSHENGSHI EDUCATION DEVELOPMENT CO., LTD.

www.InteractiveChinese.com

HÙDòng HÀNYǔ
互动汉语

互動中國語

YUèDÚ JIÀOCÁI

阅读教材

閱讀教材

TÁNGSHĪ Yǔ SÒNGCÍ

唐诗与宋词

唐詩と宋詞

本书编写组 编



华语教学出版社
SINOLINGUA

目 录

目 录

唐 诗
唐 詩

静夜思 静夜思	1
早发白帝城 早に白帝城を発す	1
黄鹤楼送孟浩然之广陵 黄鹤楼にて孟浩然の広陵に往くを送る	1
望庐山瀑布 庐山の瀑布を望む	1
八阵图 八陣の図	2
江南逢李龟年 江南にて、李龜年に逢う	2
相思 相思	2
渭城曲 元二の安西に使いする友を送る	2
九月九日忆山东兄弟 九月九日山東の兄弟を偲んで思う	3
鹿柴 鹿柴	3
清明 清明	3
山行 山行	3
江南春绝句 江南の春	4
赠别(其一) 送別(其の一)	4
赠别(其二) 送別(其の二)	4
长干曲(其一) 長干行(其の一)	4
问刘十九 劉十九に問う	5
后宫词 後宮詞	5
大林寺桃花 大林寺の桃花	5
登鹳雀楼 鶴雀楼に登る	5
凉州词 涼州詞	6
乐游原 樂遊原	6
夜雨寄北 夜雨北に寄す	6
江雪 江雪	6
春晓 春曉	7

互动汉语

宿建德江 建德江に泊まる	7
芙蓉楼送辛渐 芙蓉楼で辛漸を見送る	7
闺怨 閨怨	7
春宫曲 春宮曲	8
乌衣巷 烏衣巷	8
春词 春詞	8
渔翁 漁師	8
送友人 友人を送る	9
春夜喜雨 春夜雨を喜ぶ	9
客至 客至る	10
春望 春望	10
渭川田家 渭川田家	11
黄鹤楼 黃鶴樓	11
赋得古原草送别 送別を野原の草に託す	12
钱塘湖春行 錢塘湖に春行く	12
无题 無題	13
蝉 蟬	13
落花 落花	14
溪居 溪居	14
登柳州城楼寄漳汀封连四州刺史 柳州の城楼に登って漳汀封連四州の刺史に	15
夜归鹿门山歌 夜鹿門山に帰る	15
过故人庄 親友の庄に訪ねる	16
早寒江上有怀 朝寒い江辺で感想あり	16
蜀先主庙 蜀先主廟	17
晨诣超师院读禅经 晨超師院禪經を勉学する	17

宋 词

宋 詞

疏影 疎らな影	18
扬州慢 揚州慢	19
水调歌头 水調歌頭	20
江城子 江城子	21
念奴娇 赤壁怀古 念奴嬌・赤壁懷古	22



目 录

水龙吟 次韵章质夫杨花词	水竜吟・次韻章質夫楊花詞	23
西江月	西江月	24
雨霖铃	雨霖鈴	25
望海潮	望海潮	26
汉宫春	漢宮春	27
祝英台令 晚春	祝英台令 晚春	28
水龙吟 登建康赏心亭	水竜吟・登建康賞心亭	29
永遇乐 京口北固亭怀古	永遇樂・京口北固亭懷古	30
风入松	風入松	31
满庭芳	滿庭芳	32
过秦楼	過秦樓	33
虞美人	虞美人	34
渔父	漁師	34
卜算子 黄州定惠院寓居作	卜算子・黃州定惠院寓居作	35
临江仙 夜归临皋	臨江仙・夜歸臨皋	35
虞美人	虞美人	36
浣溪沙	浣溪沙	36
破阵子	破陣子	37
木兰花	木蘭花	37
望江南	望江南	38
乌夜啼	烏夜啼	38
长相思	長相思	39
一斛珠	一斛珠	39
蝶恋花	蝶戀花	40
梦江南	夢江南	40
菩萨蛮	菩薩蠻	41
浣溪沙	浣溪沙	41
蝶恋花 改徐冠卿词	蝶戀花 改徐冠卿の詞	42
如梦令	如夢令	42
踏莎行	踏莎行	43
采桑子	採桑子	43
生查子	生查子	44
点绛唇	點絳脣	44
浣溪沙	浣溪沙	45

渔家傲	漁家傲	45
好事近	好事近	46
菩萨蛮	菩薩蠻	46
诉衷情	訴衷情	47
醉花阴	醉花陰	47
采桑子	採桑子	48
西江月	夜行黄沙道中 西江月·夜行黄沙道中	48
南乡子	登京口北固亭有怀 南乡子·登京口北固亭有怀	49
菩萨蛮	菩薩蠻	49
临江仙	臨江仙	50
玉楼春	玉樓春	50

Lǐ Bái
李 白

jìng yè sī
静 夜 思

chuáng qián míng yuè guāng,
床 前 明 月 光,
yí shì dì shàng shuāng.
疑 是 地 上 霜。
jǔ tóu wàng míng yuè,
举 头 望 明 月,
dī tóu sī gù xiāng.
低 头 思 故 乡。

静夜思

夜ふけ、寝台の前にさしこんでいる月光を見て、思わず窓辺までよって庭を眺めると地上一面に霜が降りたのかと思われるほどに白く輝いている。そこでふりあおいでみると、それは山の端にかかっている月がこうこうと照っているのだった。しみじみとその山月を眺めていると、今宵、やはりこの月を眺めているであろう故郷の人々のだれかれが思われ、望郷の念にかられるのである。

zǎo fā bái dì chéng
早 发 白 帝 城

zhāo cí bái dì cǎi yún jiān,
朝 辞 白 帝 彩 云 间,
qiān lǐ jiāng líng yí rì huán.
千 里 江 陵 一 日 还。
liǎng àn yuán shēng tí bú zhù,
两 岸 猿 声 啼 不 住,
qīng zhōu yǐ guò wàn chóng shān.
轻 舟 已 过 万 重 山。

早に白帝城を発す

朝まだ明けぬうちに、美しい朝焼け雲の間に見え隠れる白帝城に別れを告げて、千里も離れた江陵の地まで一日のうちに帰ってきた。途中三峡の群猿の鳴き声がまだ終わらないうちに、私が乗っている足の早い小舟はたちまち幾重にも重なった山々を通りすぎてきた。

huáng hè lóu sòng mèng hào rán zhī guǎng líng
黄 鹤 楼 送 孟 浩 然 之 广 陵

gù rén xī cí huáng hè lóu,
故 人 西 辞 黄 鹤 楼,
yān huā sān yuè xià yáng zhōu.
烟 花 三 月 下 扬 州。
gū fān yuǎn yǐng bì kōng jìn,
孤 帆 远 影 碧 空 尽,
wéi jiàn cháng jiāng tiān jì liú.
惟 见 长 江 天 际 流。

黄鹤楼にて孟浩然の広陵に往くを送る

私の旧友孟浩然が西の方黄鹤楼を後にして、かすみたなびき、花咲におう三月に揚州を目ざして、長江をくだってゆくゆく。この黄鹤楼上から君の乗った舟を見送っていると、一艘の帆かけ舟のはるかに遠い影は青空のかなたに見えなくなり、あとには長江の流れが天の果てに向かって流れていくのが見えるのみだ。

wàng lú shān pù bù
望 庐 山 瀑 布

rì zhào xiāng lú shēng zǐ yān,
日 照 香 炉 生 紫 烟,
yáo kàn pù bù guà qián chuān.
遥 看 瀑 布 挂 前 川。
fēi liú zhí xià sān qiān chǐ,
飞 流 直 下 三 千 尺,
yí shì yín hé luò jiǔ tiān.
疑 是 银 河 落 九 天。

庐山の瀑布を望む

庐山の香炉峰を朝の太陽が照らすと、そこに紫色の霧が立ち上がる。その霧を通してはるか遠くの方に滝がまるで長い川を壁かけたかのように流れ落ちているのが見える。その滝の水は飛ぶように三千尺の下にまっすぐに流れ落ちている。ちょうど天の川が天空から落ちてくるのかと思われるほどだ。

Dù Fǔ
杜甫

bā zhèn tú
八阵图

gōng gài sān fēn guó,
功盖三分国,
míng chéng bā zhèn tú.
名成八阵图。
jiāng liú shí bú zhuàn,
江流石不转,
yí hèn shī tūn wú.
遗恨失吞吴。

八陣の図

孔明の功績は、三分された国々を蓋いつくし、孔明の名声は、八陣の図によって完成された。長江の水は流れても、石陣の遺構は崩れない。ただ残念なのは、呉をも呑みつくして天下を統一することができなかったことだ。

jiāng nán féng lǐ guī nián
江南逢李龟年

qí wáng zhái lǐ xún cháng jiàn,
岐王宅里寻常见,
cuī jiǔ táng qián jǐ dù wén.
崔九堂前几度闻。
zhèng shì jiāng nán hǎo fēng jǐng,
正是江南好风景,
luò huā shí jié yòu féng jūn.
落花时节又逢君。

江南にて、李龜年に逢う

岐王の屋敷ではしょっちゅうあなたにお目にかかったものですね。崔九郎の座敷の前庭でも幾度かあなたの歌をお聞きしたものです。しかし、今ここにあるものはほかならぬ江南の美しい風景、しかもその花の散る時節にまたあなたにお逢いしようとは。

Wáng Wéi
王维

xiāng sī
相思

hóng dòu shēng nán guó,
红豆生南国,
chūn lái fā jǐ zhī.
春来发几枝。
yuàn jūn duō cǎi xié,
愿君多采撷,
cǐ wù zuì xiāng sī.
此物最相思。

相思

紅豆は南国のもの、春になるとたわわに実を結ぶ。君よたくさん摘むがいい。この豆は恋という名だからね。

wèi chéng qǔ
渭城曲

wèi chéng zhāo yǔ yì qīng chén,
渭城朝雨浥轻尘,
kè shě qīng qīng liǔ sè xīn.
客舍青青柳色新。
quàn jūn gèng jìn yì bēi jiǔ,
劝君更进一杯酒,
xī chū yáng guān wú gù rén.
西出阳关无故人。

元二の安西に使いする友を送る

渭城の朝の雨は、立ち易い埃をしつとり濡らし、旅館は生きかえったような柳の緑で、空気までが青々とすがすがしい。まあ君、もう一杯やり給え。これから西へと出発し陽関を出れば、こうして飲みあえる友人もいないのだろう。

Wáng Wéi

王 维

jiǔ yuè jiǔ rì yì shān dōng xiōng dì
九 月 九 日 忆 山 东 兄 弟

dú zài yì xiāng wéi yì kè,
独 在 异 乡 为 异 客,
měi féng jiā jié bèi sī qīn.
每 逢 佳 节 倍 思 亲。
yáo zhī xiōng dì dēng gāo chù,
遥 知 兄 弟 登 高 处,
biàn chā zhū yú shǎo yì rén.
遍 插 茱 萸 少 一 人。

九月九日山東の兄弟を偲んで思う

一人見知らぬ土地に在り、見知らぬ旅人の身の上なので、秋の節句に逢うたびに、ますます家が恋しくなる、今頃、きっと兄弟で小高い岡に登り、兄弟みんな頭にぐみをさして、さてなんと言ふことなく、一人足りないことに改めて気づくだらう。

lù zhài

鹿 柴

kōng shān bú jiàn rén,
空 山 不 见 人,
dàn wén rén yǔ xiǎng.
但 闻 人 语 响。
fǎn jǐng rù shēn lín,
返 景 入 深 林,
fù zhào qīng tái shàng.
复 照 青 苔 上。

鹿柴

木の葉の落ちつくした山には、人の姿が一つ見えない。しかしどこからか人の声だけが聞こえてくる。折しも、夕日の光が深い林の奥までななめにさしこんで、青い苔の上に淡い光を落としている。

Dù Mù

杜 牧

qīng míng

清 明

qīng míng shí jié yǔ fēn fēn,
清 明 時 节 雨 纷 纷,
lù shàng xíng rén yù duàn hún.
路 上 行 人 欲 断 魂。
jiè wèn jiǔ jiā hé chù yǒu?
借 问 酒 家 何 处 有?
mù tóng yáo zhǐ xìng huā cūn.
牧 童 遥 指 杏 花 村。

清明

清明の時節は雨がひっきりなしに降り、道を行く旅人の魂は消え入るばかりだ。居酒屋は何処かとたずねると、牧童ははるか遠くの杏花村を指さす。

shān xíng

山 行

yuǎn shàng hán shān shí jīng xiá,
远 上 寒 山 石 径 斜,
bái yún shēn chù yǒu rén jiā.
白 云 深 处 有 人 家。
tíng chē zuò ài fēng lín wǎn,
停 车 坐 爱 枫 林 晚,
shuāng yè hóng yú èr yuè huā.
霜 叶 红 于 二 月 花。

山行

遠く人里離れたさびしい山をのぼっていくと、石ころの多い小道がずっと続いている。山上近く白雲が生ずるかと思われるようなところに人家があった。あたりは一面のかえでの林。乗ってきた車を止めて、思わずこの美しい夕方の景色にうつとりみとれていた。霜にあたって色づいた紅葉は春の桃の花よりも赤く、美しい。

Dù Mù
杜 牧

jiāng nán chūn jué jù
江 南 春 绝 句
qiān lǐ yīng tí lǜ yìng hóng,
千 里 莺 啼 绿 映 红,
shuǐ cūn shān guō jiǔ qí fēng.
水 村 山 郭 酒 旗 风。
nán cháo sì bǎi bā shí sì,
南 朝 四 百 八 十 寺,
duō shǎo lóu tái yān yǔ zhōng.
多 少 楼 台 烟 雨 中。

江南の春

千里四方もあるような広びろとしたところでうぐいすが啼き、木々の緑が赤い花と映じて大変のどかで美しい。水辺の村や山沿いの村では、酒屋の旗が風にひらひらひるがえっている。昔、南朝の栄えたこのあたりには四百八十ものお寺が立ち並んだというが、その名残りともいうべき数多くの堂塔が春雨のけふる中に浮かんで見える。

zèng bié qí yī
赠 别 (其 一)

pīng pīng niǎo niǎo shí sān yú,
娉 娉 袅 袅 十 三 余,
dòu kòu shāo tóu èr yuè chū.
豆 蔻 梢 头 二 月 初。
chūn fēng shí lǐ yáng zhōu lù,
春 风 十 里 扬 州 路,
juǎn shàng zhū lián zǒng bù rú.
卷 上 珠 帘 总 不 如。

送别 (其の一)

麗しくたおやかな十三歳過ぎの少女は二月の初めの豆蔻のこずえの様である。春風が、十里ほどあるここ揚州路に訪れて吹いているが、揚州の町の全ての女性の部屋の玉スダレを巻き上げて、美しさを比べてみても、総じて、誰も及びもしない。

zèng bié qí èr
赠 别 (其 二)

duō qíng què sì zǒng wú qíng,
多 情 却 似 总 无 情,
wéi jué zūn qián xiào bù chéng.
惟 觉 樽 前 笑 不 成。
là zhú yǒu xīn huán xī bié,
蜡 烛 有 心 还 惜 别,
tì rén chuí lèi dào tiān míng.
替 人 垂 泪 到 天 明。

送别 (其の二)

多情は却っていつも無情に似て、ただ酒席で笑いがしないのを感じる。ろうそくは芯もあるが、気持ちもあるかのようで、別れる人に替わって夜明けまで涙を流した。

Cuī Hào
崔 顥

cháng gān qǔ qí yī
长 干 曲 (其 一)

jūn jiā hé chù zhù?
“君 家 何 处 住?
qiè zhù zài héng táng.
妾 住 在 横 塘。”
tíng zhōu zàn jiè wèn,
停 舟 暂 借 问,
huò kǒng shì tóng xiāng.
或 恐 是 同 乡。

長干行 (其の一)

君が家は何処にあるか。妾は横塘に住んでいます。船を止めて暫く問う。もしかしたら同郷ではないか。

Bái Jūyì
白居易

wèn liú shí jiǔ
问刘十九

lǜ yǐ xīn pēi jiǔ,
绿蚁新醅酒,
hóng ní xiǎo huǒ lú.
红泥小火炉。
wǎn lái tiān yù xuě,
晚来天欲雪,
néng yǐn yì bēi wú?
能饮一杯无?

劉十九に問う

醸したての酒には、緑の蟻と見えるさけかすが
浮かび、紅の泥で築いた炉には、ちよろちよろ火
が燃える。暮れ時ともなつて、雪催う空。酒も
炉も君を待つ。一杯飲みにやって来ないか。

hòu gōng cí
后 宫 词

lèi jìn luó jīn mèng bù chéng,
泪尽罗巾梦不成,
yè shēn qián diàn àn gē shēng.
夜深前殿按歌声。
hóng yán wèi lǎo ēn xiān duàn,
红颜未老恩先断,
xié yī xūn lóng zuò dào míng.
斜倚熏笼坐到明。

後宮詞

涙は絹のハンカチを湿らせても、夢を見なかつた。
夜中前殿から歌が聞こえる。衰えないのに
まだ皇帝の寵愛を手に入れられない、熏籠に寄り
かかって、夜明けを待っている。

dà lín sì táo huā
大 林 寺 桃 花

rén jiān sì yuè fāng fēi jìn,
人间四月芳菲尽,
shān sì táo huā shǐ shèng kāi.
山寺桃花始盛开。
cháng hèn chūn guī wú mì chù,
长恨春归无觅处,
bù zhī zhuǎn rù cǐ zhōng lái.
不知转入此中来。

大林寺の桃花

世間では四月となれば夏で、最早春景色はどこ
も探しても見られないが、この山寺では桃の花が
今まさに満開だ。自分は春の行方を求むことは
ずして長恨していたが、この山寺にしようと思う

Wáng Zhīhuàn
王之涣

dēng guān què lóu
登 鹳 雀 楼

bái rì yī shān jìn,
白日依山尽,
huáng hé rù hǎi liú.
黄河入海流。
yù qióng qiān lǐ mù,
欲穷千里目,
gèng shàng yì céng lóu.
更上一层楼。

鶴雀楼に登る

輝く太陽は西の山に凭れるようにして、沈み行
く。足元の黄河は東海へ入ろうと、流れ去る。
私は千里の眺望を極めつくそうと、鶴雀楼のもう
一階上へと登っていった。

互动汉语

Wáng Zhīhuàn
王之涣

liáng zhōu cí 凉州词

huáng hé yuǎn shàng bái yún jiān,
黄河远上白云间,
yí piàn gū chéng wàn rèn shān.
一片孤城万仞山。
qiāng dí hé xū yuàn yáng liǔ,
羌笛何须怨杨柳,
chūn fēng bù dù yù mén guān.
春风不度玉门关。

凉州詞

黄河を舟ではるかにさかのぼってゆくと、まるで白雲の間にのぼってゆくような気がする。ふと見上げると、高くそびえている頂にぽつんとひとかけらといったような城が建っている。このような辺境のちにあつてはただでさえ悲しいのだから、胡人よ、笛で別れの曲など吹いてこれ以上悲しませないでくれ。ここ玉門関のあたりには春の景色はなかなか訪れてはくれないのだから。

Lǐ Shāngyīn
李商隐

lè yóu yuán 乐游原

xiàng wǎn yì bú shì,
向晚意不迺,
qū chē dēng gǔ yuán.
驱车登古原。
xī yáng wú xiàn hǎo,
夕阳无限好,
zhǐ shì jìn huáng hūn.
只是近黄昏。

樂遊原

日暮れに近づくにつれて、私の心は何故となく苛立つ。馬車に命じて郊外に出、西の方、楽遊園に登ってみた。どこまでもどこまでも広がる夕日の美しさ。だが早くもたそがれの薄やかが近づきつつある。

yè yǔ jì běi
夜雨寄北

jūn wèn guī qī wèi yǒu qī,
君问归期未有期,
bā shān yè yǔ zhǎng qiū chí.
巴山夜雨涨秋池。
hé dāng gòng jiǎn xī chuāng zhú,
何当共剪西窗烛,
què huà bā shān yè yǔ shí.
却话巴山夜雨时。

夜雨北に寄す

いつお帰りになりますと、そうたずねる手紙があなたから来た。しかしまだいつ帰れるとも期限の見込みは立たない。いま私は巴山の麓の片田舎の旅館にいるが、秋の長雨が夜にも降り続け、前の池に水が漲っている。いつになったら、夫婦ともども、西向きの居間の窓に対座し、蠟燭の芯をはさみで剪りながら夜遅くまで話し合うことができるだろう。若しそうなればその時にこそ、巴山でこの雨の音を聞きながら、私が何を思っていたかを話してあげよう。

Liǔ Zōngyuán
柳宗元

jiāng xuě 江雪

qiān shān niǎo fēi jué,
千山鸟飞绝,
wàn jìng rén zōng miè.
万径人踪灭。
gū zhōu suǒ lì wēng,
孤舟蓑笠翁,
dú diào hán jiāng xuě.
独钓寒江雪。

江雪

山という山はみな雪におおわれて、鳥の飛ぶ姿もなく、また雪という雪はみな雪にうずまって、人の足跡もなくなっている。見渡す限り白一色の世界の中に一艘の小舟に乗って、みのもと笠をつけた老人が一人ぽつんと寒々とした川に浮かんで釣り糸を垂れている。

Mèng Hàorán

孟 浩然

chūn xiǎo

春 晓

chūn mián bù jué xiǎo,

春 眠 不 觉 晓，

chù chù wén tí niǎo.

处 处 闻 啼 鸟。

yè lái fēng yǔ shēng,

夜 来 风 雨 声，

huā luò zhī duō shǎo.

花 落 知 多 少。

春晓

春の寝心地よさに、夜は明けたのにも気づかず、うとうととしているとあちらでもこちらでも鳥のさえずりが聞こえてくる。昨夜は風や雨が強かったが、花はどれほど散ったであろうか。さぞたくさん散ってしまったことであろう。

sù jiàn dé jiāng

宿 建 德 江

yí zhōu bó yān zhǔ,

移 舟 泊 烟 渚，

rì mù kè chóu xīn.

日 暮 客 愁 新。

yě kuàng tiān dī shù,

野 旷 天 低 树，

jiāng qīng yuè jìn rén.

江 清 月 近 人。

建德江に泊まる

私は船をもやに包まれた岸へとこぎ寄せ、今夜の泊まりの用意をした。日は暮れ果てて旅愁が新たなもののように沸いてくる。さびしい原野。黙々の上に天空が低く垂れ下がっている。大川の水は澄み切っている。月、それだけが私の道にある。

Wáng Chānglíng

王 昌 龄

fú róng lóu sòng xīn jiàn

芙 蓉 楼 送 辛 渐

hán yǔ lián jiāng yè rù wú,

寒 雨 连 江 夜 入 吴，

píng míng sòng kè chǔ shān gū.

平 明 送 客 楚 山 孤。

luò yáng qīn yǒu rú xiāng wèn,

洛 阳 亲 友 如 相 问，

yí piàn bīng xīn zài yù hú.

一 片 冰 心 在 玉 壶。

芙蓉楼で辛漸を見送る

冷たい雨が揚子江一面に降り注ぐ中を、夜になつて私たちはやっと呉の地に着いた。辛漸君と一夜を過ごして明け方旅立つ君を見送ると、はるかに楚山がぼつんと聳え立っているのが見える。君がこれから帰る洛陽にいる私の親友が昌龄はどうしていると問うたならば、ちょうど一片の氷が白玉の壺のなかにあるように清澄そのものだ、と伝えて欲しい。

guī yuàn

闺 怨

guī zhōng shào fù bù zhī chóu,

闺 中 少 妇 不 知 愁，

chūn rì níng zhuāng shàng cuì lóu.

春 日 凝 妆 上 翠 楼。

hū jiàn mò tóu yáng liǔ sè,

忽 见 陌 头 杨 柳 色，

huī jiào fū xù mì fēng hóu.

悔 教 夫 婿 觅 封 侯。

闺怨

閨の中にいる若い妻は、憂愁というものを知らない。春の日、化粧をこらし、楼の上に登って眺める。ふと、街路の端に植えられた楊柳の、青々と芽ぶいた色が目に入った。そこで彼女は後悔する。夫に貴族の位を求めさせ、戦場へだしてしまったことを（そのために春の日を、彼女は一人で過ごさなければならないのだ）。

互动汉语

Wáng Chānglíng

王 昌龄

chūngōng qǔ

春 宫 曲

zuó yè fēng kāi lù jǐng táo,
 昨 夜 风 开 露 井 桃,
 wèi yāngqián diàn yuè lún gāo.
 未 央 前 殿 月 轮 高。
 píng yáng gē wǔ xīn chéng chǒng,
 平 阳 歌 舞 新 承 宠,
 lián wài chūn hán cì jīn páo.
 帘 外 春 寒 赐 锦 袍。

春宫曲

昨夜、春風は露井のかたわらの桃の花を咲きほころばせた。今、未央宮の前殿には、満月が高くかかっている平陽公主のもとで歌舞していた人は、このたび寵愛をうけるようになったばかり。御簾の外の春寒に、みかどは錦の上着を下しおかれた。

Liú Yǔxī

刘 禹锡

wū yī xiàng

乌 衣 巷

zhū què qiáo biān yě cǎo huā,
 朱 雀 桥 边 野 草 花,
 wū yī xiàng kǒu xī yáng xiá.
 乌 衣 巷 口 夕 阳 斜。
 jiù shí wáng xiè táng qián yàn,
 旧 时 王 谢 堂 前 燕,
 fēi rù xún cháng bǎi xìng jiā.
 飞 入 寻 常 百 姓 家。

乌衣巷

朱雀橋はこの通りの入り口にある、繁盛も今は昔、庶民の軒の燕も、元はこの王家謝家の、厳しき建物に巣くったことだろう。

Liú Yǔxī

刘 禹锡

chūn cí

春 词

xīn zhuāng yí miàn xià zhū lóu,
 新 妆 宜 面 下 朱 楼,
 shēn suǒ chūnguāng yí yuàn chóu.
 深 锁 春 光 一 院 愁。
 xíng dào zhōng tíng shù huā duǒ,
 行 到 中 庭 数 花 朵,
 qīng tíng fēi shàng yù sāo tóu.
 蜻 蜓 飞 上 玉 搔 头。

春词

化粧した後、朱楼から降りる。院を閉めると、春景色を隠してしまう。だから庭はまだ静かにひっそりした。庭を歩き、花を数える時、とんぼが頭にとめてある玉のかんにとまった。

Liǔ Zōngyuán

柳 宗元

yú wēng

渔 翁

yú wēng yè bàng xī yán sù,
 渔 翁 夜 傍 西 岩 宿,
 xiǎo jí qīngxiāng rán chǔ zhú.
 晓 汲 清 湘 燃 楚 竹。
 yān xiāo rì chū bú jiàn rén,
 烟 销 日 出 不 见 人,
 ǎi nǎi yì shēng shān shuǐ lǜ.
 欸 乃 一 声 山 水 绿。
 huí kàn tiān jì xià zhōng liú,
 回 看 天 际 下 中 流,
 yán shàng wú xīn yún xiāng zhú.
 岩 上 无 心 云 相 逐。

漁師

漁師は、夜、河の西岸の岩屋に泊まり、朝には、清らかな湘水の流れを汲み、楚竹を焚いて、朝飯を炊く。その煙りが消えるころ、ようやく太陽は昇るが、どこにも人影は無い。「アイヨォ〜！」の掛け声、一声、緑の山や河に、こだまして、天の果てを顧みながら、河の中ほどに小舟を漕ぎ出せば、先ほどの岩屋の上には、ポツカリと無心に雲が浮かんで流れてくる。

Lǐ Bái
李 白

sòng yǒu rén
送 友 人

qīng shān héng běi guō,
青 山 横 北 郭,
bái shuǐ rào dōng chéng.
白 水 绕 东 城。
cǐ dì yì wéi bié,
此 地 一 为 别,
gū péng wàn lǐ zhēng.
孤 蓬 万 里 征。
fú yún yóu zǐ yì,
浮 云 游 子 意,
luò rì gù rén qíng.
落 日 故 人 情。
huī shǒu zì zī qù,
挥 手 自 兹 去,
xiāo xiāo bān mǎ míng.
萧 萧 班 马 鸣。

友人を送る

青々とした山並みは町の北側に横たわり、白く波立つ川は町の東側をめぐって流れている。このような美しい地に君は別れを告げて一本のよもぎが風に吹かれてころがっていくようにただひとり万里の遠方に旅たっていく。空に浮かび漂う雲は旅人のわびしい気持ちを表し、名ごり惜しげに西に沈む太陽はここにとどまって君に名残りを惜しむ私の気持ちをあらわしている。さあ、いよいよお別れだ。しっかりと握っていた手を振り切って、ここから去ろうとすれば、さびしげに馬までも別れを悲しんで鳴いている。

Dù Fǔ
杜 甫

chūn yè xǐ yǔ
春 夜 喜 雨

hǎo yǔ zhī shí jié,
好 雨 知 时 节,
dāng chūn nǎi fā shēng.
当 春 乃 发 生。
suí fēng qián rù yè,
随 风 潜 入 夜,
rùn wù xì wú shēng.
润 物 细 无 声。
yě jìng yún jù hēi,
野 径 云 俱 黑,
jiāng chuán huǒ dú míng.
江 船 火 独 明。
xiǎo kàn hóng shī chù,
晓 看 红 湿 处,
huā zhòng jīn guān chéng.
花 重 锦 官 城。

春夜雨を喜ぶ

よい雨はその降るべき時節をちゃんと心得ていて、春のときをはずすことなく今やその発生の営みを始めたのだ。

雨は風のまにまに偲びやかに世の中に紛れ込み、こまやかに音もなくものを潤っている。野の小道にかぶさる雲は他の黒きものともども野に真っ黒く、川に宿る船にはいさり火がただ一つ赤々と燃えている。

夜が明けて赤く湿っているところを見ると、それは錦官城に花がしっとりぬれている姿であろう。

Dù Fǔ
杜 甫

kè zhì
客 至

shè nán shè běi jiē chūn shuǐ,
舍 南 舍 北 皆 春 水,
dàn jiàn qún ōu rì rì lái.
但 见 群 鸥 日 日 来。
huā jìng bù céng yuán kè sǎo,
花 径 不 曾 缘 客 扫,
péng mén jīn shǐ wèi jūn kāi.
蓬 门 今 始 为 君 开。
pán sūn shì yuǎn wú jiān wèi,
盘 飧 市 远 无 兼 味,
zūn jiǔ jiā pín zhī jiù pēi.
樽 酒 家 贫 只 旧 醅。
kěn yǔ lín wēng xiāng duì yǐn,
肯 与 邻 翁 相 对 饮,
gé lí hū qǔ jìn yú bēi.
隔 篱 呼 取 尽 余 杯。

客至る

家の南も家の北も一面の水が溢れ、かもめの群が毎日やってくるのをみるばかり。花の咲いた小道をお客のために掃除をしたことはないのだが、蓬の門を今日は始めてあなたのために開く。

皿の食物は市場が遠いのでただ一品だけ、樽の酒も家が貧乏なのでもつぱら古酒だ。隣の爺さんと差し向かいで飲んではいかがでしょう。垣根ごしに呼んできて残りの酒杯をのみほそうではありませんか。



Dù Fǔ
杜 甫

chūnwàng
春 望

guó pò shān hé zài,
国 破 山 河 在,
chéng chūn cǎo mù shēn.
城 春 草 木 深。
gǎn shí huā jiàn lèi,
感 时 花 溅 泪,
hèn bié niǎo jīng xīn.
恨 别 鸟 惊 心。
fēng huǒ lián sān yuè,
烽 火 连 三 月,
jiā shū dī wàn jīn.
家 书 抵 万 金。
bái tóu sāo gèng duǎn,
白 头 搔 更 短,
hún yù bù shēng zān.
浑 欲 不 胜 簪。

春望

国都の長安は戦のために荒れ果ててしまったけれども、自然の山や川は昔のままの姿で存在している。町は春の季節を迎えたものの昔のおもかげはなく、荒れ果てているのに、草木は去年とおなじようにおいしげっている。このような乱れた時勢に悲しみの情がこみ上げて花を見ても涙をこぼし、また家族との別れをなげいている身にも、鳥の声を聞いてみな今どうしているかと心が疲れるのである。戦争はいつ果てるともなく何か月もつづき、それだけに家族からの手紙は万金に値する。都が荒れ果てた悲しみや、家族に対する心配のあまりに白髪頭をかくと、かみの毛はいつそう短くなってまったく冠をとめるかんざしもさすにたえられなくなりそうである。

Wáng Wéi
王 维

wèi chuān tián jiā
渭 川 田 家

xié guāng zhào xū luò,
斜 光 照 墟 落,
qióng xiàng niú yáng guī.
穷 巷 牛 羊 归。
yě lǎo niàn mù tóng,
野 老 念 牧 童,
yī zhàng hòu jīng fēi.
倚 杖 候 荆 扉。
zhī gōu mài miáo xiù,
雉 雉 麦 苗 秀,
cán mián sāng yè xī.
蚕 眠 桑 叶 稀。
tián fū hè chú zhì,
田 夫 荷 锄 至,
xiāng jiàn yǔ yī yī.
相 见 语 依 依。
jí cǐ xián xián yì,
即 此 羡 闲 逸,
chàng rán yín shì wēi.
怅 然 吟 式 微。

渭川田家

夕日は村の家々を照らし、みすばらしい通りを牛や羊の群れが帰ってゆく。田舎の老人は、牧童の帰りを気遣い、丈にすがって、柴の戸口に出ている。雉が啼き、麦の苗はすくすくと伸び、蚕は眠について、桑の葉も残り少ない。田圃帰りの農夫が、鋤を担いでやってきたが、立ち止まって、この老人と和やかに話を始めた。それを見ていると、平和な田圃の生活が羨ましくなり、心をたかぶらせ、この式微の歌を歌った。「胡んぞ帰らざる」なぜ私もこの平和な生活の中へ帰りきらないのだと。

Cuī Hào
崔 颢

huáng hè lóu
黄 鹤 楼

xī rén yǐ chéng huáng hè qù,
昔 人 已 乘 黄 鹤 去,
cǐ dì kōng yú huáng hè lóu.
此 地 空 余 黄 鹤 楼。
huáng hè yí qù bù fù fǎn,
黄 鹤 一 去 不 复 返,
bái yún qiān zǎi kōng yōu yōu.
白 云 千 载 空 悠 悠。
qíng chuān lì lì hàn yáng shù,
晴 川 历 历 汉 阳 树,
fāng cǎo qī qī yīng wǔ zhōu.
芳 草 萋 萋 鹦 鹉 洲。
rì mù xiāng guān hé chù shì?
日 暮 乡 关 何 处 是?
yān bō jiāng shàng shǐ rén chóu.
烟 波 江 上 使 人 愁。

黄鹤楼

昔、仙人がここから黄鹤にまたがり、白雲にのって飛び去り、今、この地にはただ黄鹤楼だけが残っている。

黄鹤はひとたびさって、もう帰ってこない。それから千年、今はただ雲がゆうゆうと浮かび流れているのみ。

さてこの高殿から見渡すと、晴れ渡った大河の向こうには、漢陽の町の木々がはっきりと見え、そして美しい草が鸚鵡洲におおいげっている。

やがて日が暮れ、わが故郷はどの方向になるのであろうか。夕もや立ち込める長江のながめは、この私をして望郷の思いにかりたてる。